



▲皆さんが着ているセーターやマフラーは手づく 2年ごとの作品展で地元の皆さんに紹介します。

-----天然素材と仲間を紡ぎつづける

-アーススピニング(伯太町赤屋)

ディング※、染め、紡ぎ、 り・洗浄からはじまり、 仕上がります。セーターはた みなどたくさんの工程を経て くさん作る人で年間5着が精 作品に使う毛糸は、ごみ取 カー 編

記事が全ての始まりです」と 拠点に活動しています。 月2回、赤屋老人センターを めて作品を作るサークル。毎 た風合いは安来色です。 地元に生える草木で染められ 手編みされた温かみに加え、 セーターを着ている皆さん。 であるように、柔らかい色の は羊毛などを紡ぎ、草木で染 「マザーアーススピニング」 色づいた周辺の山々がそう 「12年前に出会った冊子の

ました」。

うになるまで約4年通い続け 工房へ、ひととおりできるよ ペースで平田町(出雲市)の た。その後、月に1、2回の 出ていた人に会いに行きまし 味のあった仲間と共に記事に

色を使い分けます。 カワダチソウなど、化学染料 プ、クリ、タマネギ、セイタ を使わないナチュラルな安来 にあるサクラやチューリッ て原毛の草木染めを独自に習 その後は、試行錯誤を重ね 使用する草木は身の回り

と皆さんが口をそろえます。

離せない着心地が魅力である も軽くて暖かく、一度着たら いっぱいと言います。それで

どおり大地由来のもののみを ら名付けました」と話すよう 使って糸を紡いでいくことか にこだわった活動をしていま に天然素材を使った「循環」 子さんは「サークル名は文字 設立時から参加する神庭延

> ますが、皆さんとおしゃべり 打ち明けます。 しながらの作業が楽しい」と は「完成した時の喜びもあり ている理由を、前田節子さん もう一つ、長年活動が続い 取材日も9時から活動が始

思いが形になるところが楽し は一人一人が全ての工程をこ 声が絶えません。 の作業をこなしますが、 話。その後も指先はそれぞれ いですね」とサークルの魅 なします。色や形など自分の はお茶を飲みながらの世間 まりましたが、10時過ぎまで 山本訓枝さんは「この会で



話すのは代表の板倉喜美子さ

ん。「『羊毛を紡ぐ』ことに興

▲糸繰り機で紡いでいきます。 作品によって糸の太さが異なり、 細く紡ぐのが難しいとのこと

※繊維方向が揃った綿状の塊にする作業

した。 人は、

ションでカメラを構え、撮っ もらいました(の) 笑顔で新春号に彩りを添えて となんて考えたことなかった 振り返り当時、住むまちのこ を話してくれました。自分を 堂々と自分たちの考えや思い 通学する高校生にお願いしま 駆け上がりました(旬) ことを。泣く泣くダッシュで の山城には「七曲り」がある い出しました。この難攻不落 り返していたら嫌なことを思 たら走って先回り。これを繰 垣の前などの良さそうなポジ なと思いながら収録。素敵な ▼新春座談会は市内の学校に 2002年生まれの一 物怖じすることなく

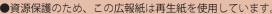
安来市の人口と世帯数 R 1.11.30現在

編集後記

38,413人 口合計/ (男:18,452人 女:19,961人) 带数/14,392世帯







●広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。

自治会宛の発送等につきましては、地域振興課(☎23-3067)までご連絡ください。

参加者より前を歩きます。石 オーキングの様子を撮るため、

取材で久々に月山